

環境フォーラム概要決定！

おうしゅう環境フォーラム 2012 プロジェクトチームでは、これまで4回開催した会議の中で、開催要項や収支予算等について検討を重ね、当日の開催内容が確定しました。

今年度の環境フォーラムは、「地下水脈とつながる～200 年先を見ながら、一瞬の今を生きる～」と題して、葛巻町「森と風のがっこう」代表の吉成信夫氏の基調講演を開催するほか、地元江刺区の郷土芸能「鹿踊」の演舞や、環境フォーラム初の試みとしての「エコ・アイディア」募集（当日会場で表彰）などを予定しております。

また、江刺区の軽トラ屋台による「限定 100 食だんご汁の振舞い」や、地元農産物の販売など、盛りだくさんの内容で開催いたします。

当日は、奥州めぐみネット会員で環境フォーラムを盛り上げたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いします！！



ビューポイント発見ツアー in 前沢 & 胆沢 & 水沢

自然環境部会は、9月25日（火）に「ビューポイント発見ツアー in 前沢&胆沢&水沢」を開催し、経塚山（前沢）、紫陽花ロード展望所（胆沢）、鹿合跡（胆沢）、見分森展望台（水沢）を巡りました。当日は早朝からあいにくの雨でしたが、午後から青空が広がり、眺望を楽しむことができました。

今回は、バスの車内で吉田智子さんに胆沢扇状地の説明をいただき、バスの経路上にある5つの段丘を体感することができました。段丘のことを初めて知ったという声も上がりました。

見分森展望台では、散居集落や山々の眺望を楽しみました。



月山神社の巨木。
その高さ(と天気)でてっぺんが霞んでいます。

見分森展望台から。ようやくの青空に時を忘れて眺望しました。



雨にも負けず、よく見聞きしました。

運営会議（9～10月）からの報告

- ・「環境フォーラム 2012」について、プロジェクトチームから進捗状況の報告がありました。
- ・「奥州市環境基本計画」の中間見直しについて、作業方法を確認しました。
- ・市で策定作業中の「奥州市環境教育推進方針」について、原案の内容を検討しました。
- ・奥州FMの出演状況について確認しました。
（毎週火曜日 10:30～ 好評放送中！）

里山生活学校

持続可能な暮らし方を求めて、
地域に暮らす私たちが、その身近な資源の価値に気づき
豊かに循環活用するしくみづくり

「ああ、昔、どっこともこんな風だったあ・・・。」里山生活学校の敷地内に足を踏み入れると、「メェ～」という羊の鳴き声や豚くん達のがさごと歩き回る足音が聞こえてきます。思わず誰しも懐かしくなる暮らしの風景。



里山生活学校は、江刺区広瀬で里山の恵を活かしながら学び、集い、楽しみながら地域資源を丸ごと活かした暮らしを提案している会員制（現在42人）の任意団体です。

年に4回の調査観察会やワークショップ開催のほか、日常的には、毎週1回スタッフが集まって、山仕事や小屋づくりといった作業や、里山地域素材を活かした工芸活動などの作業をしています。

8月19日、里山の地域資源を生かし楽しむ！『里山フェスタ』に行ってきました。これが、里山生活学校の1番大きなイベントで、地域資源や素材を生かした生産品や作品の展示販売や木陰を利用したのマッサージなどの出店に400人のお客さんでにぎわっていました。

小さな子供たちを連れて…友達同士で…みんなくつろいで里山を楽しんでいました。

美味しいものあり
心地よい木陰あり
ずっと居たくなる心地よさ…

詳しくは、里山生活学校ブログで！

今年の環境フォーラムでは、里山生活学校代表の河内山さんと森と風のがっこうの吉成信夫さんの対談もあります！お楽しみに！



「奥州万年の森」植樹祭に参加しました

9月9日（日）に前沢区字石田地内の奥州万年の森公園で、奥州万年の森づくり実行委員会が主催する植樹祭に参加しました。

台風や日照りに強い森に成長してくれるよう、コナラやトチ、クヌギなど、地域に自生する多様な植物を植樹してきました。

10月27日（土）には、同地にて「どんぐりの苗づくり」が開催されます。参加を希望される方は事務局までご連絡ください。



不法投棄物撤去作業

資源循環・廃棄物部会は10月3日（水）、水沢区真城字西館に不法投棄された一般廃棄物の撤去作業を行いました。一昨年度も同じ場所で撤去作業を実施しましたが、不法投棄常習場所となっており、再度の実施となりました。当日は20人が参加し、各自が可燃物・不燃物に分別しながら作業を行いました。

缶やビンなどの家庭ごみの他に、テレビや冷蔵庫などの大型の家電製品も捨てられており、参加者からは「適切にリサイクルすれば



当日参加した皆さん

資源となるのに・・・」「乾電池は無料の回収BOXに出せるのに何故不法投棄するのか・・・」などの声が上がりました。

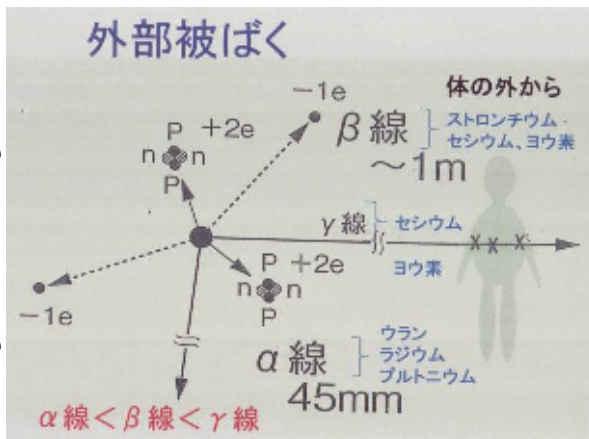
今回の作業で現場から回収したごみは、燃えるごみ50kg、燃えないごみ100kg（テレビ2台、冷蔵庫1台含む。）で、胆江地区衛生センター等への持込等で処分しました。作業後は、不法投棄をさせない環境をつくるために、不法投棄防止啓発看板の設置を行いました。なお、この現場については、後日市で監視カメラの設置を予定しているとのことです。



車両は水沢環境公社さんに協力していただきました

② 外部被曝と内部被曝

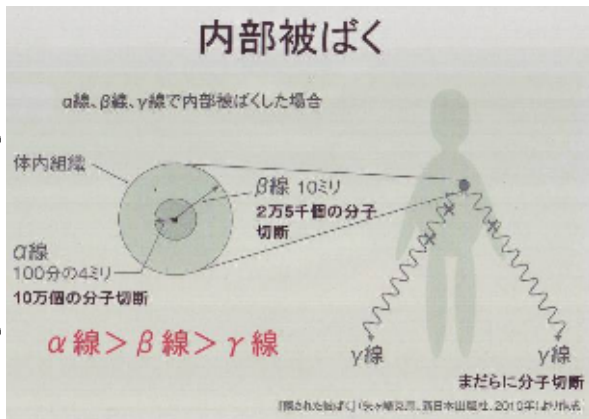
原発事故で飛び出した放射性物質から出る α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線の、3つの放射線の違いも重要です。



α 線は、重い粒子で、空気中で45mm飛びますが、透過性が低く、紙一枚や皮膚の上皮でも防ぐことができますので、ほとんど外部被曝することはありません。体内に入ると、 $40\mu\text{m}$ (100分の4mm)しか飛びませんが、電荷量も大きく重い粒子がつきあたる全ての電子を弾き飛ばし「ギシギシと分子切断」(琉球大学名誉教授 矢ヶ崎克馬)し、エネルギーを全部失って止まります。1本の α 線が、10万回分子切断するといわれています。体内に、集中被曝の場所を作ります。ウランやプルトニウムから出る放射線です。

β 線は、高速電子で、空気中では1m飛びますが、体内では1cmしか飛びません。外部被曝は、

アルミ板で防ぐことができますが、体の中にはないので、やはり「ギシギシ」と2万5千回も分子切断し、集中被曝の場所を作ります。奥州の大地に落ちているセシウムやストロンチウムから出る放射線です。



γ 線は、粒子ではなく電磁波で、空気中で70mも飛びます。人体中でも、体を突き抜ける位飛びます。物資の原子との相互作用が弱く、まばらに分子切断をするので、エネルギーを失わず遠くまで飛ぶことができます。厚い鉛やコンクリートでなければ防ぐことができず、外部被曝で人間を突き刺すのは γ 線です。セシウムやヨウ素から出る放射線です。

さらに、外部被曝の場合は、自分の体に向かってくる放射線の害だけを受けますが、内部被曝の場合は、体の中で四方に出る放射線全てに被曝してしまいます。また、呼吸や飲食で体の中に入れてしまった放射性微粒子のそれぞれから発射される全部の放射線に被曝してしまうことになり、

内部被曝は大変なものになります。(次号に続く)

会員紹介

新会員

会員No.29/資源循環・廃棄物部会、自然環境部会、生活環境部会、環境学習部会所属

『薬草部会』 会長 松芳 トミ子 さん

「薬草部会」は、衣川村芸術文化協会の会員として活動をスタートし15年以上になります。

現在の会員数は14名で、これまで

- ・年1～2回の自然観察の勉強会
- ・衣川区内の小学校で、昔の草花あそび体験の指導
- ・ドクダミやエゴマの葉などの薬草を採取、乾燥、袋詰めし衣川荘で販売

などの活動を行ってきました。

今年度は、活動の中心を芸文協からめぐみネットに移し、各部会で開催する視察研修や学習会などに積極的に参加し、会員相互の親睦を図ることを目的として活動しております。



薬草の乾燥作業の様子



最近若い女性がタバコを喫っている姿を見かけることがあります。売り上げが低迷する中、たばこ業界は、今まであまり喫っていなかった若い層や女性にまでも売りつけようとしてるのでしょうか？いえいえ、それはちょっと違います。タバコ販売の一番のターゲットは、昔も今も、**子どもたち**なのです。

たばこ産業は、未成年の子どもたちをターゲットにしている。このことがわかったのは、1990年代のことでした。この頃、アメリカたばこ産業の関係者らが相次いで内部告発をし、法律で未成年者の喫煙は禁じられているにもかかわらず、会社が12才から19才までの子どもらを重点的に狙って販売戦略を立てていたことが暴露されました。

なぜかと言うと、統計上、20才以前にタバコ常習者となった人は、生涯にわたってタバコを喫い続ける可能性が極めて高い（つまり禁煙に成功しない。実に89%が禁煙に失敗する！）ことが知られていたからです。その一方、20才を過ぎてから喫煙を始めた人は、その90%がじきにやめてしまうそうです。

つまり、成長期の若い体にタバコの煙を浸み込ませてしまうのです。そうすると容易には抜けられない。オリンピック体操選手も幼いころから訓練します。鉄は熱いうちに打て。ある意味で洗脳教育の手法に通じるものがあります。

そこで彼らは、その目的に従っていろいろな戦略を立てました。まず**学校の近くにタバコ販売店を設け、そこを重点的に強化する。タバコの陳列台の高さを低く設定する、チラシやポスター、景品やおまけが若年層を引き付けるものにする、たばこの値段を子どもでも買える価格帯に据え置く**などなど・・・これのノウハウはみな、産業界の横の技術提携によって、ほぼ全世界的に実施されてきました。

もちろん日本も同じです。学校の近くには必ずと言っていいほどタバコ屋があります。タバコのCMにはティーンエイジに人気のある俳優（高倉健など）が起用されてきました。JTはタバコの値上げにいつも頑強に反対しています。また例えば、街角で目にするあの看板。「**たばこ**」って、どうしてあんなに低い目線に、しかも**ひらがな**で書かれているのでしょうか。酒や呉服、塩などの、他の商品はまったく違いますよね。まるで子どもにうったえかけているような・・・

つまりタバコの広告の多くは、特段に、子どもたちを陥れるために作られているらしいのです。この隠された事実が判明した当時、アメリカのたばこ産業は激しく叩かれました。加えて連鎖反発的に、彼らのそれまで主張してきたたくさんの嘘が、次々と暴かれていきました。たばこ会社はそれまで無敗だった裁判に負け始め、テレビのCMはできなくなり、社会医療費補てん分として莫大な賠償金の支払いが命じられました。



今思えば、これがタバコ情勢のターニングポイントだったのですね。この頃を境にして、「タバコは毒だ！規制すべき」という意識が世界中に急速に広まっています。

でも残念ながら、このことは日本ではあまり報道されなかったのですよ。もしかしたらJTが大蔵省とマスメディアに強い影響力を持っていたせいかもしれません。よっていまや日本はアメリカのほぼ二倍の喫煙率（男子）を誇っています。タバコの値段も、世界的に見てかなり安いのです。

生活環境部会より（文責：建部 信）

ハッピーエコライフコーナー

県内には約1,500頭のツキノワグマが生息していると言われていますが、国内では絶滅が危惧される地方もあります。普段は山で生息していますが、餌となるドングリ等が不足すると、生きるために仕方なく里へ下りてきます。人を探して襲うことはしませんが、突然鉢合わせになると驚いて襲うことがあるので、山に入るときは鈴などの音が出るものを携行し、もしクマに遭遇したら、慌てて逃げず、目を見たままゆっくり後ずさりしましょう。 自然環境部会所属 菊地 司
(奥州FM「778 っぴーエコライフ」9/11 放送から)

◇ つぶや記・あとが記 ◇

奥州めぐみネットが誕生してから早や2年。互いに顔なじみになり、言いたいことも言いあえる仲に育ってきました。

ネットの意味をここのらの言葉に訳せば、
「一緒にやってみねすか？」
「ちょっとカっこ貸してけねすか？」
「何があったら言ってくなんせ」
こんなところでしょうか。

ゆるやかにしっかりつながっている・・・こんな
間柄になりたいなあ。 若生和江

